

雑誌名	題名	発表者	所属部門
新薬と臨床、55 (5):573-580, 2006	ざ瘡の治療における抗菌薬の選択基準	渡辺晋一	皮膚科
Clinic magazine:2006年6月号:48-51	浅在性白癬の薬物療法—外用療法のポイント—	渡辺晋一	皮膚科
西日皮膚 68 (3): 293-298, 2006	マグロリグナン?(5,5-ジプロピル-ピフェニル-2,2'-ジオール)配合製剤の肝斑など色素沈着症に対する改善効果	渡辺晋一	皮膚科
肥満と糖尿病 5 (4): 572-573, 2006	肥満や糖尿病患者の水虫は?	渡辺晋一	皮膚科
MB Derma 115 (7): 1-8, 2006	レーザー治療のメカニズム	渡辺晋一	皮膚科
Mycoses 49 (3): 236-241, 2006	A comparative clinical study between 2 weeks of Luliconazole 1% cream treatment and 4 weeks of Bifonazole 1% cream treatment for Tinea pedis.	Watanabe S	皮膚科
Skin Pharmacol Physiol 19: 275-282, 2006	Acceleration of de novo cholesterol synthesis in the epidermis influences desquamation of the stratum corneum in aged mice.	Watanabe S	皮膚科
Dermatol Surg 32 (6): 785-789, 2006	Condition known as 'dark rings under the eyes' in the Japanese population is a kind of dermal melanocytosis which can be successfully treated by Q-switched ruby laser.	Watanabe S	皮膚科
診療と新薬、43(9):912-917, 2006	新規衣料用柔軟仕上剤および洗剤の乾燥肌等に対する使用成績	渡辺晋一	皮膚科
Medicina 43(10): 1686-1688, 2006	糖尿病を疑うきっかけになる皮膚真菌症	渡辺晋一	皮膚科
medicina2006増刊号、43(12):603-605	皮膚真菌症	渡辺晋一	皮膚科
Mycoses 50: 35-40, 2006	Dose-finding comparative study of 2 weeks of luliconazole cream treatment for tinea pedis - comparison between three groups (1%, 0.5%, 0.1%) by a multi-center randomised double-blind study.	Watanabe S	皮膚科
日皮学会誌 116 (13): 2007-2010, 2006	“しみ”に対する治療戦略	渡辺晋一	皮膚科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
アレルギー科 21(4):361-367, 2006	新しい抗真菌薬の抗炎症作用とその機序	神田奈緒子	皮膚科
Visual Dermatology 7(5):670-671, 2006	全身性エリテマトーデス	神田奈緒子	皮膚科
Biochem Pharmacol 72(4):463-473, 2006	Suppressive effects of antimycotics on tumor necrosis factor- $\alpha$ -induced CCL27, CCL2, and CCL5 production in human keratinocytes.	神田奈緒子	皮膚科
皮膚臨床 48 (6):795-799, 2006	成人Still病の1例	澁谷修一郎	皮膚科
MB Derma, 121: 61-68, 2006	皮膚良性腫瘍の診断に役立つ免疫組織化学的検査.	大西誉光	皮膚科
Nephrology	ADPKD	Horie S	泌尿器科
Differentiation.	Lack of a laterality phenotype in Pkd1 knock-out embryos correlates with absence of polycystin-1 in nodal cilia.	Horie S	泌尿器科
Vaccine	Induction of Gag-specific T-cell responses by therapeutic immunization with a Gag-expressing Sendai virus vector in macaques chronically infected with simian-human immunodeficiency virus.	Horie S	泌尿器科
J Clin Invest	Pkd1 regulates immortalized proliferation of renal tubular epithelial cells through p53 induction and JNK activation.	Horie S	泌尿器科
Nephron Clin Pract.	Calcium channel blocker versus angiotensin II receptor blocker in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Horie S	泌尿器科
前立腺癌の非観血的治療	温度を利用した新規治療—HIFUと凍結治療—	武藤 智	泌尿器科
Eur Urol	The Prognostic Value of E-Cadherin, alpha-, beta-, and gamma-Catenin in Urothelial Cancer of the Upper Urinary Tract.	Muto S Horie S	泌尿器科
Fertil Steril	Age as a limiting factor for successful sperm retrieval in patients with nonmosaic Klinefelter's syndrome.	Okada H Horie S	泌尿器科
Fertil Steril.	Four pregnancies in nonmosaic Klinefelter's syndrome using cryopreserved-thawed testicular spermatozoa.	Okada H Muto S	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Natl Cancer Inst.	Effect of Smad7 expression on metastasis of mouse mammary carcinoma JygMC(A) cells. Maruyama O, Horie S.	Maruyama O Horie S	泌尿器科
泌尿器外来	男性更年期外来の治療と症状スコア	丸山 修	泌尿器科
J.neurosurg. 103 (12): 1092-94.2006	Pituitary cyst presenting with hyponatremia and increased secretion of brein natriuretic peptide.	Son	脳神経外科
Neuroscience Letters 402:222-226	Intracerebroventricular delivery of dominant negative prion protein in a mouse model of iatrogenic Creutzfeldt-Jakob disease after dura graft transplantation	Furuya K	脳神経外科
癌と化学療法33(9):1279-1285	初回再発の退形成性星細胞腫患者に対する Temozolomide 単剤投与の有効性および安全性の検討。	藤巻高光	脳神経外科
日本放射線腫瘍学会誌 (1040-9564)18巻3号 Page141-145(2006.09)	耳垂ケロイドの術後照射	横川徳造 白井辰夫	放射線科
Circ J. 2007 Feb;71(2):229-33	Factors affecting the patient's skin dose during percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion.	Suzuki S Furui S	放射線科
Radiat Med. 2006 Nov;24(9):631-4. Epub 2006 Nov 24.	Brown tumor with fluid-fluid levels in a patient with primary hyperparathyroidism: radiological findings.	Takeshita T Takeshita K	放射線科
Intern Med. . 2006;45(15):933-4. Epub 2006 Sep 1. No abstract available.	Ruptured pheochromocytoma presenting with acute abdomen and pulmonary edema	Takeshita T Takeshita K	放射線科
Invest Radiol. 2006 Jun;41(6):510-5.	Accuracy of attenuation measurement of vascular wall in vitro on computed tomography angiography: Effect of wall thickness, density of contrast medium, and measurement point.	Suzuki S Furui S	放射線科
Radiology. 2006 May;239(2):541-6. Epub 2006 Mar 28.	Radiosensitive functional dye: clinical application for estimation of patient skin dose.	Suzuki S Furui S	放射線科
頭頸部癌 32-4	Stage I・II 舌扁平上皮癌における組織内照射後の頸部後発リンパ節転移に関する検討	田邊陽子	歯科口腔外科

小計 12

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Journal of Hard Tissue Biology	Dental Pulp Changes Observed on a patient on Long-term Corticosteroids.	Chigono Y	歯科口腔外科
Chudoku Kenkyu	Guidelines for the treatment of acute chemical poisoning-11-symptomatic therapy 4.Management of circulation for drug overdose and poisoning	Sakamoto T	救命救急センター
Neurol Med Chir(Tokyo)	Final report of the Japan Neurotrauma Data Bank project 1998-2001: 1,002 cases of traumatic brain injury.	Sakamoto T	救命救急センター
Hum Gene Ther	Keratinocyte growth factor gene transduction ameliorates acute lung injury and mortality in mice.	Morimura N	救命救急センター
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	High tidal volume ventilation induces lung injury after hepatic ischemia-reperfusion.	Morimura N	救命救急センター
Neurosurgical Emergency	重症頭部外傷に対する急性期治療の現状 頭部外傷データベースの分析から	坂本哲也	救命救急センター
日本救急医学会雑誌	救急医療を考える 明るい未来を拓くために今 外傷外科手術の標準化を目指したトレーニングコースの設立に向けて	内田靖之	救命救急センター
EBMジャーナル	BLSをめぐって 呼吸の確認は、正常な呼吸(普段どおりの息)をしているかみる	金子一郎	救命救急センター
肝臓・胆臓・膵臓に作用する薬物95-117	シリーズ・病態生理と薬物療法 肝胆膵疾患の薬物治療	山岡 桂子 山岡 尚世	薬剤部
薬事新報2416	眼科疾患の薬物療法(18) ③眼に作用する薬物	山岡 桂子	薬剤部
薬事新報2429	眼科疾患の薬物療法(18) ④眼に作用する薬物	山岡 桂子	薬剤部
薬事新報2454	眼科疾患の薬物療法(18) ⑤眼に作用する薬物	山岡 桂子	薬剤部
医学と薬学58	全自動化学発光酵素免疫システム「ルミパルス Presto II」によるHCV抗体測定試薬の基礎的検討	黒田 雅顕 会津美砂	中央検査部
日本臨床微生物学雑誌17	Candida glabrata による結構播種性肺 Candida 症の1例	川上小夜子	中央検査部

小計 14

合計173

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 三上 真弘
管理担当者氏名	医事課長代行 飯塚裕之, 医療情報課長補佐 富澤英文, 総務課長 和久正志

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療情報課 各病棟 各科診療科	診療録等は患者別 その他については年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各科診療科	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病診連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者さま相談室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	富澤英文
閲覧担当者氏名	富澤英文
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	52.0%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算	A : 紹介患者の数	14,850 人	
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,254 人	
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	8,657 人	
拠	D : 初診の患者の数	52,799 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第  
まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
<p>・所属職員：専任( 1)名 兼任(14)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)安全管理対策の推進</li> <li>2)安全管理委員会の開催</li> <li>3)安全管理担当者連絡委員会を開催し、安全管理委員会で決定された事項の周知徹底</li> <li>4)医療事故発生防止のための情報収集と教育</li> <li>5)院内各部署への立ち入り検査と関係書類の調査</li> <li>6)安全管理に関わる関係部署との連絡調整</li> <li>7)医療事故発生防止のための対策立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査</li> <li>8)発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案</li> <li>9)発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導</li> <li>10)発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導</li> <li>11)発生した医療事故の原因究明の確認および指導</li> <li>12)発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底</li> <li>13)安全管理委員会、安全管理部会の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること</li> </ol>	
④ 当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>2)安全管理委員会その他の組織に関する基本情報</li> <li>3)安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>4)安全確保を目的とした、事故報告書に基づく改善策の立案、実施に関する基本方針</li> <li>5)医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6)病院職員と患者の情報共有に関する基本方針</li> <li>7)患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8)安全管理対策に関する指針および安全管理マニュアルの見直しと周知の方針</li> </ol>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)安全管理対策の推進</li> <li>2)医療事故発生防止のための情報収集と教育</li> <li>3)院内各部署への立ち入り検査と関係書類の調査</li> <li>4)安全管理に係わる関係部署との連絡調整</li> <li>5)医療事故発生防止のための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査</li> <li>6)発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案</li> <li>7)発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導</li> <li>8)発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導</li> <li>9)発生した医療事故の原因究明の確認および指導</li> <li>10)発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底</li> <li>11)安全管理委員会の資料および議事録の作成および保存等の庶務に関すること</li> </ol>	

## 医療に係わる安全管理のための職員研修(平成18年度)

研修区分	期日	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成18年4月1日(土) 平成18年4月3日(月)	安全管理体制について 放射線に関する知識と安全対策について 院内感染対策について
研修医オリエンテーション	平成18年4月1日(土) ～ 平成18年4月28日(金)	医療事故防止について 放射線の人体に与える影響 放射線の安全取り扱い総論 放射線の安全取り扱い各論 放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規定 安全管理体制と医療事故防止について 院内感染対策について 医療事故防止のための取り組み
院内感染予防講習会第1回	平成18年6月2日(金)	流行性角結膜炎対策 小児科の感染対策 MRSAの減少に成功 MRSA対策 治療法選択に役立つグラム染色
医療事故防止に関する講習会 第1回	平成18年7月26日(水)	医療事故対策について
医療事故防止に関する講習会 (第1回ビデオ研修)	平成18年10月20日(金) 平成18年10月25日(水)	医療事故対策について
医療事故防止に関する講習会 第2回	平成19年2月15日(木)	医療訴訟から見た医療行為
医療事故防止に関する講習会 (第2回ビデオ研修)	平成19年2月27日(火) 平成19年3月2日(金)	医療訴訟から見た医療行為
院内感染予防講習会 第2回	平成18年12月22日(金) 平成18年12月27日(水)	ノロウイルス感染対策 インフルエンザ感染対策



⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<p>・研修の主な内容: 別紙</p>	
<p>⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p>	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> ) ・ 無 )</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ○安全管理委員会において事故の事例分析および発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する</p>	